

有縁の皆さんでお読み下さい

藍色のお褒めの記しただけど 身の丈合わず 嬉し恥ずかし

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.325



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

彦根組「真宗講座」

「『浄土和讃』を味わう」

親鸞聖人が、浄土真宗の教えの味わいを和語でわかりやすく綴られた沢山の和讃の中から、今回は『浄土和讃』をひもといて味わわせていただきます。どなたさまも、是非ご参加ください。

日時 6月2日(金) 13:30~16:00(受付 13:00より)

会場 純正寺(佐和町 3-29 ☎ 22-7888)

お車で来院の方は、純正寺周辺の2カ所の駐車場にご駐車ください。
駐車場が満車の時には市民会館跡地のコインパーキングをご利用ください。

講師 純正寺住職 釋 覚恵(漢見覚恵)

※準備の都合上、参加ご希望の方は純正寺までお電話かFAX
でお申し込みください。(上記下線部参照)

YouTube 純正寺チャンネル LINE 純正寺公式アカウント 純正寺公式ホームページ



上記のQRコードを、スマホのQRコードリーダーで読み込んでください。

6月26日(月)
10:00~11:30 13:30~15:00
こんき常例布施
法話：東近江布西明寺 坂本 秀士 師

純正寺の法要は「YouTube」「Pococha」「facebook live」で、生配信でも録画でもご視聴・お聴聞していただけます。

住職法話 我聞如 是

われかくのごとくきく

コロナ禍から学ぶ

「新しい日常」(後編)

煩惱が苦しみの原因

生老病死の四苦をひとつの病気と考えると、病気を治すのにまず必要なことは原因を見つけることです。そこで、仏教ではこの苦しみの原因を特定するのですが、私たちは短期間に苦しいと感じるような出来事が重なると、つい原因を自分の外に探しがちです。「何故、自分にだけこんなにも沢山の不幸がやってくるのだろう」「何故、自分にだけこのように苦しみが雨のように降ってくるのか」と。

しかし、仏教では私の苦しみの原因を私の外には求めません。私の苦しみの原因は、私の心の中にある「煩惱(欲望)」だと特定するのです。すなわち、お釈迦様は生まれてきた生命すべてに訪れる老病死という客観的事実を苦しみと認識するのは、「老いたくない」「病みたくない」「死にたくない」という、私の心の有り様が原因だと見抜かれたのです。

煩惱をなくすには

このように、私の苦しみの原因が明らかになることにより、この苦しみの原因を取り除けば必然的に苦しみはなくなるという道筋が見えてきます。では、どうすれば苦しみの原因を取り除けるのかというと、仏教

ではもの見方や考え方を
変えることだと説きます。
すなわち、老い、病み、死
ぬことは生まれてきた限り
避けることなどできない、
命の事実なのだとも明らかに
認識することです。

そして、そのように認識
するためにはどうすれば良
いのかということにおいて
は、喜怒哀楽など人間の感
情で物事を見たり判断した
りしないこと。人を傷つけ
たりおとしめたりするよう
な言動をしないこと。良い
行いをする努力と悪い行い
をしない努力を怠らないこ
と。このような言動・努力を、
精神を集中して継続するこ
と。そうすれば、やがて死
に対する苦しみはなくなり、
老いや病に対する恐怖や不
安や偏見を克服することが
できるのです。そして、そ

の結果の一つとしてマスク
を外したいと思えば人目を
気にせず外すこともでき、
しかも自分がマスクを外し
たからといって、マスクを
している人を批判したり誹
謗中傷したりすることもな
くなるのです。

生死の解決

しかし、理屈では確かに
そうなのですが、実際はそ
う上手くも簡単にもいかな
いのが現実です。ではどう
すれば良いのか。そこを現
实的にするのが、浄土の教
えすなわちお念仏の教えな
のです。では、浄土の教え
が何故苦しみの克服につな
がるのでしょうか。

現代日本社会の一般的な
理解では、生と死は切り離
して取り扱われることが多
く、しかも死とは生という

絶対善を奪う絶対悪だと認識されています。ですから、生きていく時に死のことを考えたり論じたりすることは無意味なこと、破壊的思想だと考えます。そして、浄土とはその生きていく間には考えることさえ無意味な死後の世界だと認識されるのです。

しかし、仏教では生と死を切り離して考えることはありません。生と死は、一枚の紙の裏表のようなもので「生死(しょうじ)」と言い表します。生は常に死によって成り立っていて、逆に死もまた生によって成り立っているのです。という事は、死の解決がなされたならば同時に生の解決もなされるということになります。

苦を転じて生きる力に

そこに、浄土の教えが関わるのです。すなわち浄土とは、死という出来事に対して、生を奪うという意味ではなく、真実の生命に誕生する(往生する)という意味を見出すのです。私たちは通常、自分の死と向き合う前段階として、大切な人との死別を経験します。死別の苦悩は厳しいもので、その苦悩は時に精神や肉体までもズタズタに切り裂きます。そこで、何とかこの苦しい状況を克服しようと、私たちは死別の事実を時間の経過とともに忘れていくとします。そうすることにより、死別の苦悩から立ち直ろうとするのです。

しかし、浄土の教えを聞くことにより、死別の苦悩

を解決するプロセスが変わるのです。江戸時代を代表する俳人、小林一茶さんの俳句に「渋柿の渋がそのまま甘みかな」というものがあります。晩秋から初冬にかけての、収穫した渋柿を軒下にぶら下げておくと、そのうち甘い干し柿になる風情が読み込まれています。しかし、この句は単に季節の風情を詠んだのではなく、一茶さんが妻子と立て続けに死別していることも読み込まれていると聞き及びました。すなわち、大切な人との死別の苦しみ(渋柿の渋)がそのまま、生きる力(干し柿の甘み)に変化していくことを詠んでいるのです。

浄土真宗という日常

この死別の苦悩を生きる力に変換する作用が浄土の

はたらき、すなわち南無阿彌陀仏のはたらきなのです。ここに、根源的に死の苦悩が解決するのです。そして同時に、あらゆる生の苦悩も解決することになります。

浄土真宗の教えは、限りある生命の終わりに死ではなく、お浄土の限らない生命へ誕生(往生)するということ意味を与えます。そして、このお浄土のはたらきである南無阿彌陀仏によって、老いや病をはじめとする生きていく間の様々な苦悩を全て、お浄土に向かってこの限りある生命を生き切つて往くちからに転換されていくのです。

このように、南無阿彌陀仏(浄土真宗)の教えに生きるからこそ、まさしく私たちの新しい日常なのです。



純正寺 6 月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ

一、五六六、九九二個

五月も、多くの皆さまが少しづつ集めてくださったキャップをお届けくださいました。六〇二〇個、お預かりしました。

彦根組真宗講座「浄土和讃に学ぶ」

2日(金)

13:30~16:00

年齢・性別は問いません

彦根組3年ぶりの、門徒対象の講座。三帖和讃の中から、『浄土和讃』を味わわせて頂きましょう。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

3日(土)

13:00~14:30

就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しい遊びタイムです。

みんなの食堂ビハーラ

8日(木)・22日(木)

17:00~19:00

年齢・性別は問いません

インフルエンザが気になりますね。気は緩めず、感染対策しながら楽しい学習と食事のひと時を。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

13日(火)・27日(火)

10:20~11:30

年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

「月例法話座談会」

15日(木)

14:00~16:00

年齢・性別は問いません

日常の「何故?」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

世のなが安穏なれ「ビハーラ彦根」

18日(日)

18:00~20:00

年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

25日(日)

16:00~18:00

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。マスクの着用は自由です。

こんき常例布教

26日(月)

10:00~11:30.13:30~15:00

年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。法話は、愛荘町の西明寺の坂本秀人師です。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50

年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Pococha で生配信もします。

純正寺門徒会より会費納入のお知らせとお願い

純正寺門徒会では、毎年6月が門徒会費の前期納入月になっています。各地区の地区委員さんが、会員様のお家にあらかじめご連絡の上、会費を受け取りに行かれますので、速やかな納入へのご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、地区委員さんには、振り込み方法が変更になりましたので、別途説明書をご参照ください。